



ほしの みちこ
星野 道子さん (向上野)

「捨てればごみ、分ければ資源」。限りある資源を無駄にしたいとは思いません。

主なレアメタルの使用用途

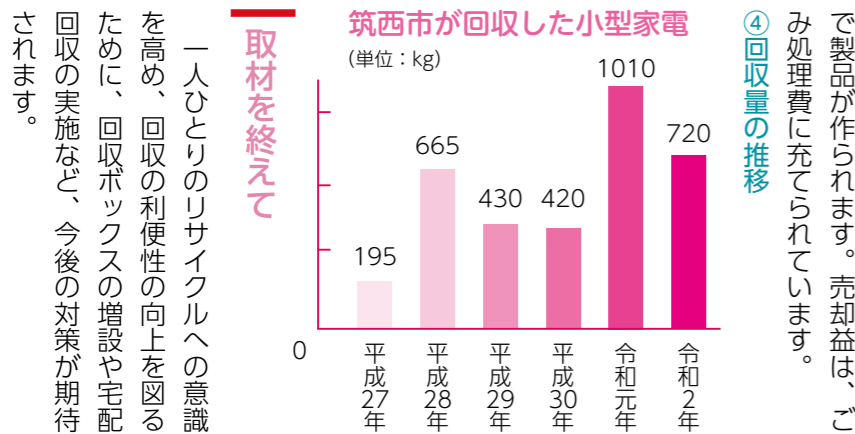
レアメタル	使用用途
ネオジウム	ハードディスクや電気自動車のモーターなど
リチウム	携帯電話のバッテリーなど
インジウム	液晶ディスプレイ・太陽電池など
チタン	航空機のボディーなど
プラチナ	自動車の排ガス装置など

科学技術を支えるために必要とされている金属で、21世紀の産業のカギを握ると言われています。脱炭素社会実現のための発光ダイオードや永久磁石の材料にもなっています。

①回収ボックスの設置
・市役所本庁1階総合案内隣
・あけの元気館入口

②回収する小型家電の品目
・30cm×15cmの投入口に入る物
※携帯電話、パソコン、デジタルカメラ、電卓、電子体温計、リモコンなど

③回収後の流れ
回収された小型家電は、小型家電リサイクル法の認定業者に引き渡されます。分解・選別され、精錬事業所で各種金属を抽出し、各メーカー



小型家電のリサイクル
みなさんの家で使われなくなった小型家電は宝の山

日本では、小型家電に含まれる金、銀などの有用な金属が、1年間で28万ト(844億円分)廃棄されています。市では、これまで廃棄されていた小型家電を回収し、貴重な資源として活用するため、回収ボックスを市役所本庁舎とあけの元気館に設置しています。

オリンピック・パラリンピックのメダルを製作
平成27年4月〜平成29年3月まで「都市鉱山からつくるーみんなのメダルプロジェクト」が実施されました。みなさんの家で使われなくなった小型家電をリサイクルして、東京2020大会でアスリートに授与される金、銀、銅合わせて50000個のメダルに必要な金属量を



小さな家電が大きな鉱山
日本では、年間約65万トにも及ぶ小型家電が使われなくなっています。使われなくなった小型家電は、都市にある鉱山という意味で「都市鉱山」と呼ばれ、日本の都市鉱山には、世界の天然鉱山をしのぐ埋蔵量があるとされているそうです。小型家電から抽出されるのは、金、銀、銅、鉄、アルミニウム、ステンレス、バナジウム、レアメタルなどです。なかでもレアメタルは、埋蔵量が少ないうえ、取り出すのが難しく入手しにくい素材ですが、最新の

都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト

東京2020大会で授与される入賞メダルを、使用済み携帯電話や小型家電などから金属を集めて製作するプロジェクトです。

▶回収期間
平成27年4月〜平成29年3月

▶回収量
全国自治体=約78,985ト
NTTドコモ=携帯電話621万台

▶最終的な確保金属量

金属	確保量
金	約32kg
銀	約3,500kg
銅	約2,200kg

▶参加自治体数
1,621自治体
※国内の全市区町村数1,741のうち、9割以上の市区町村が参加。



お願いします

6月 受付開始

高齢者等ごみ出し支援戸別収集
家庭のごみを集積所に出すことが困難な高齢者や障がい者などの世帯を支援するため、週1回自宅までごみの収集に伺います。

利用対象世帯 ①②のいずれも該当する世帯

- ①親族・近隣住民などから支援を受けることができない世帯
・ホームヘルパーが、訪問介護サービスでごみ出しが可能な場合は、対象外です。
- ②次のいずれかに該当する人のみで構成される世帯
・65歳以上で、介護認定の要支援認定又は要介護認定を受け、サービス計画でごみ出しの支援が必要とされる人。
・障がい者で、居宅介護又は重度訪問介護を受け、サービス計画でごみ出しの支援が必要とされる人。

家庭ごみの収集方法 指定袋に入らない粗大ごみは対象外です。※費用は無料です。



市が行う
指定日に収集員が回収します
収集日は、申請後に利用決定通知書でお知らせします。収集は日中に行います。

申請方法
申請書と必要書類を環境課窓口まで直接持参してください。代理人申請の場合は、委任状が必要です。
※申請から収集開始まで1〜2か月程度かかります。早めに申請してください。

申請書はこちらから

【申】【問】 環境課 (本庁2階) ☎24-2130